

斯くて、吾が国全体の労働運動が、重要なる一階梯に進入せると共に、吾が東京市従業員組合も、其の重大なる發展階段に一步と踏み入れたものと云はなければならぬ。是れ、吾等が茲に特に宣言を發して、全労働運動の當面せる問題及び、是れに對する、吾が組合の任務に就而、吾等の立場を公けにする所以である。

第一。吾が組合の當面せる重要なる内部問題の一つは、教育運動とトリ一増盛にすることである。吾が国の労働運動は、前述の如く非常なる速度を以て進歩しつつ、あるに従つて、昨日の現實は己に今日の現實ではない。此の進歩に添うて、其の陣列に伍して進む爲には、吾等は組合内の教育運動によつて、絶えず組合自身と向上せしめなければならぬ。

第二。労働運動の急速なる發展に、此で、資本家階級は、亦

資本と労働者との間に、巨大なる溝を生じ、その間に、

本家は、あらゆる方法に於て其の力と組織と、統制しつゝ、ある。斯く如き社会の現状に當面せる労働階級は、全体として組織され、統制され、あけられなければならない。是れ、吾等の過去に於て高唱せる全国組合我聯合の必要なる所以である。吾等は此の問題が、もはや一刻も等閑に置けり得ざる急問題たるを痛感するものである。故に吾等は如何なる、困難を排して、全国総聯合の達成に邁進するであらう。

第三。現在の資本家的經濟支配の下に於ては、労働階級は、生産者としての採取以外に、消費者としての採取を伺ひ、且つ、居る。生産者としての採取に對抗する労働組合以外に、労働階級は、消費者としての採取に對抗する。有らざる武裝たる消費組合を有たねばならぬ。其の意味に於て、我が組合は、本大会の具體的決議に基き、消費組合運動に向て全力を傾注するであらう。